

□議員名：長谷川知司

1 小野田霊園の整備計画を含む墓地計画について

論点	跡地利用がなくても、役目を終えた旧小野田斎場を荒んだ状態のままにしているのは、地域一帯の景観及び環境の悪化を招いているのではないか。
回答	解体の方向で、担当課は実施設計、予算要求を行っている。市全体の計画を立てる中で、先延ばしとなっている状況である。

2 公共トイレの洋式化について

論点	文化会館や市民館のトイレは、催し物の上映中の幕間に利用する人で集中する。そのときに、和式トイレは高齢者には使いづらく洋式トイレに集中するため、和式トイレは空いていても洋式トイレには行列ができる。施設の魅力の条件に快適なトイレ利用が必要ではないか。
回答	確かに、幕間のトイレ利用で洋式トイレに行列ができる状況があり、洋式トイレの必要性は認識している。これから大規模改修等を実施するときには、洋式トイレの増設をしっかりと検討したい。

3 公共施設の解体について

論点	市庁舎別棟は、耐震強度がなく解体が決められている。その中で、既存の売店・ランチルームを耐震強度のある場所に移転している。そうした状況であるのに、特定の団体に利用させている。このことは、市の業務遂行に反しているし、災害時の責任問題を理解しているのか。
回答	行政財産として使っていたところ、公共性の高い団体から借用の申入れがあった。そこで条件を付して、短期的に使用許可を認めている。